

世界中の母娘(おやこ)に希望を贈る そごう・西武オリジナル「ホワイトリボン ピンバッジ」

WHO(世界保健機構)によると、妊娠出産で命を落とす女性は年間約30万3千人、1日に約830人。母親を亡くした乳児の多くも死亡しており、その99%は途上国で起きていると言われています。このような途上国のお母さんや赤ちゃんの命を救うため、1999年にホワイトリボン・アライアンスが設立され、現在世界155ヶ国で支援活動が行われています。そごう・西武では、この活動に賛同し、2013年より毎年「オリジナルホワイトリボン ピンバッジ」を製作・販売。公益財団法人ジョイセフを通じて、その収益の全額を途上国でのマタニティハウス(*)建設のために寄付(*)させていただいております。

- *出産する病院や保険施設までの距離が遠く、お産に間に合わずに自宅の不衛生な環境で出産して命を落とすケースを防ぐために、陣痛が来る前に病院や保険施設の近くでお産のための待機するための施設のこと。
- *2013年から2017年まで、全店総計で2,599,000円を寄付。

【概要】

- 会期:11月6日(火)~12月25日(火)
※各店ごとの準備数量に達し次第終了
- 会場:そごう・西武=各店 こども靴下取りカウンターほか
- 販売価格:1個300円 ■販売個数:4,000個(全店合計)
※本リリースの掲載画像はイメージ、価格は税込です。



■そごう・西武ではこの他にも「ホワイトリボン運動」を支援しています。

1) ホワイトリボン運動支援の自動販売機設置

2013年より、飲料品1本につき2円(当社1円+飲料メーカーさま1円)の寄付を行う飲料自動販売機を、そごう・西武各店のベビー休憩室に設置。2018年8月までに全店総計で564,897円を寄付いたしました。

2) ホワイトリボンラン開催支援



公益財団法人ジョイセフでは、2016年より毎年3月8日の「国際女性デー」に合わせたチャリティアクション「ホワイトリボンラン」を開催しています。バーチャルラン拠点のひとつである秋田エリアにおいて、西武秋田店では地元のランニングサークルと連携し、店頭や店舗ホームページで参加者募集活動に協力。また、ゴール地点が西武秋田店正面口となったことから、ホワイトリボン運動PRにも協力させていただき、大会に参加していない方への認知拡大を図りました。



■SDGsへの取り組み

そごう・西武は、2015年に「国連持続可能な開発サミット」で、2030年に向けて国際社会の共通目標として掲げられた「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals: SDGs)」の達成に向け、さらに取り組みを強化してまいります。

